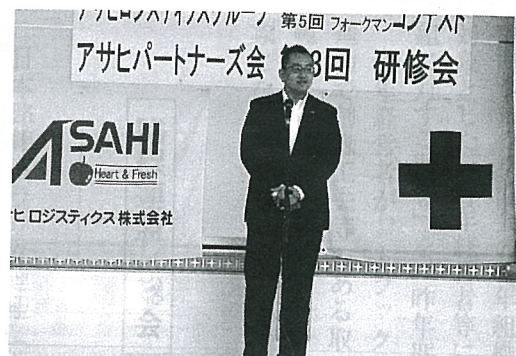


カーゴニュース 2014年(平成26年)5月27日

「切磋琢磨してレベルアップを」と横塚社長

パートナーズ会と合同でドライバー・フォークコンテスト開く



挨拶する横塚社長

アサヒロジスティクス(横塚元樹社長)と同社の取引先や協力輸送会社でつくるアサヒパートナーズ会(会長・笠井学東京日野自動車社長)は18日、羽村市の日野自動車羽村工場で第17回ドライバーコンテストと第5回フォークマンコンテストを開いた。このコンテストは、ドライバーやオペレーターのプロとしての自覚を再認識するとともに、自分の技量がどの程度かを確認し、加えて同じ目標に挑戦することで仲間意識を高めることを目的に毎年開いているもので、今回はパートナーズ会の第3回研修会として同会加盟各社も参加した。同社からは各拠点から選ばれたトラックドライバー22名、フォークオペレーター10名、パートナーズ会からはトラックドライバー21名、フォークオペレーター9名の選手が参加した。

挨拶に立ったパートナーズ会の笠井会長は、「トラック輸送業界は、安全・高品質・正確、そして低コストの4つが揃った会社だけが発展を約束されている。本日のドライバーコンテストは時流を得た施策だ」と述べた。

次に横塚社長は、「今回初めて、パートナーズ会と合同で開催する。当社の経営理念に物流業界をあこがれの業界にするところ。そのためには、安全・品質を徹底させていかなければいけない。そして日々の仕事ぶりが外部の方にどう見えるか、意識しながら仕事をしたい。パートナーズ会と切磋琢磨して全体をレベルアップしていきたい」と述べた。

ドライバーコンテストは、学科筆記と日常点検、運転技能の3競技の総得点で順位を決める。学科競技は正誤式で50問出題され時間は50分。日常点検競技は10分以内に安全確認からエンジン、タイヤ、ブレーキオイル、バッテリー液、灯火などの基本的な項目をチェックするもので、冷凍機の作動点検も行う。運転技能競技は3トか4トトラックで10分以内に縦列駐車からクランク、車庫入れ、クランク、外周路走行を行い、燃費も計測する。

フォークマンコンテストは、リーチ式かカウンタースタックバッテリーフォークリフトを使用し、乗車から積み取り、格納、駐車までの実技のみで安全項目重視で配点され減点法をとる。

なお総合優勝は、トラック部門では、アサヒロジスティクス秩父営業所の原田政裕さんが、フォークリフト部門は、アサヒパートナーズ会の仙台冷蔵倉庫の狩野隼人さんが各々獲得した。



日常点検競技



運転技能競技



フォークマンコンテスト